

32・64 bit 統合インストーラーの作成 (MSI インストーラー + スイートインストーラー)

注) このドキュメントは、*InstallShield 2015 Premier Edition* を基に作成しています。*InstallShield 2015* 以外のバージョンでは設定名などが異なる場合があります。

概要

MSI インストーラーでは、Windows Installer の仕様により、32 bit 環境と 64 bit 環境の両方に対応したパッケージを作成することができません。32 bit 用・64bit 用 にそれぞれ別々のパッケージとして MSI インストーラーを作成する必要があります。

InstallShield Premier Edition では、複数のパッケージを統合するスイートプロジェクトをサポートしています。そのため、各環境用に生成された MSI インストーラーをスイートインストーラーによって統合することで、単一のパッケージにより両方の環境をサポートするインストーラーが作成可能となります。

この記事では、用意されている 32bit 用・64bit 用 の MSI インストーラーをスイートインストーラーに統合する手順について説明します。

A. 32 bit 用・64 bit 用 MSI インストーラーの作成

スイートインストーラーに含める MSI インストーラーを作成します。MSI インストーラーでは、単一のパッケージによって両方の環境をサポートすることはできませんが、プロジェクトの構成によって同一のプロジェクトからそれぞれ 32bit 用・64bit 用の MSI インストーラーを作成することは可能です。

● 32 bit 用インストーラーと 64 bit 用インストーラーを同一のプロジェクトより作成する方法

Tips and Tricks (<http://www.networld.co.jp/product/is/tips/>) から以下の記事をご参照ください。

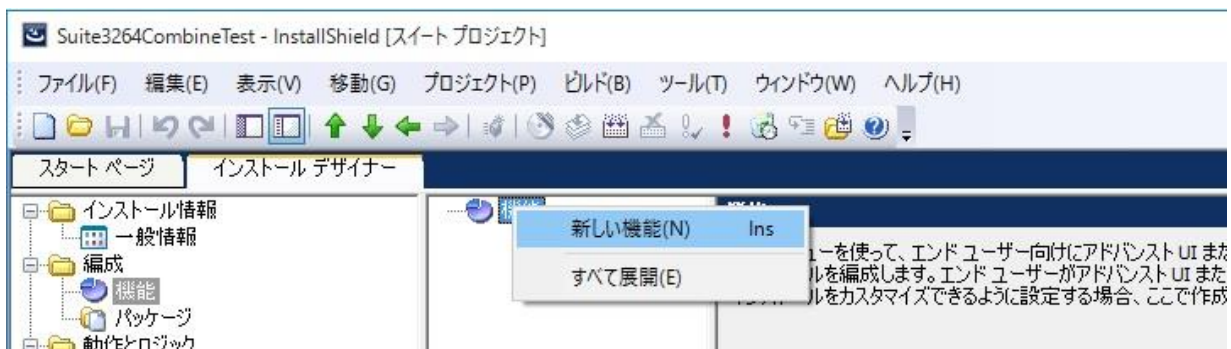
32bit 用インストーラと64Bit用インストーラを同一のプロジェクトで作成する

http://www.networld.co.jp/download_file/2850/4141/

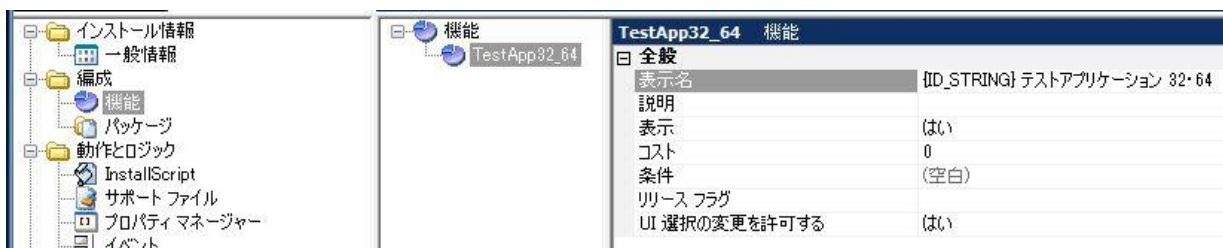
B. スイートプロジェクトの作成・機能の追加

スイートプロジェクトを新規作成して、機能を追加します。

1. スイートプロジェクトを新規作成します
2. [編成] - [機能]ビューに移動します。中央ペインの[機能] を右クリックして「新しい機能」を選択します



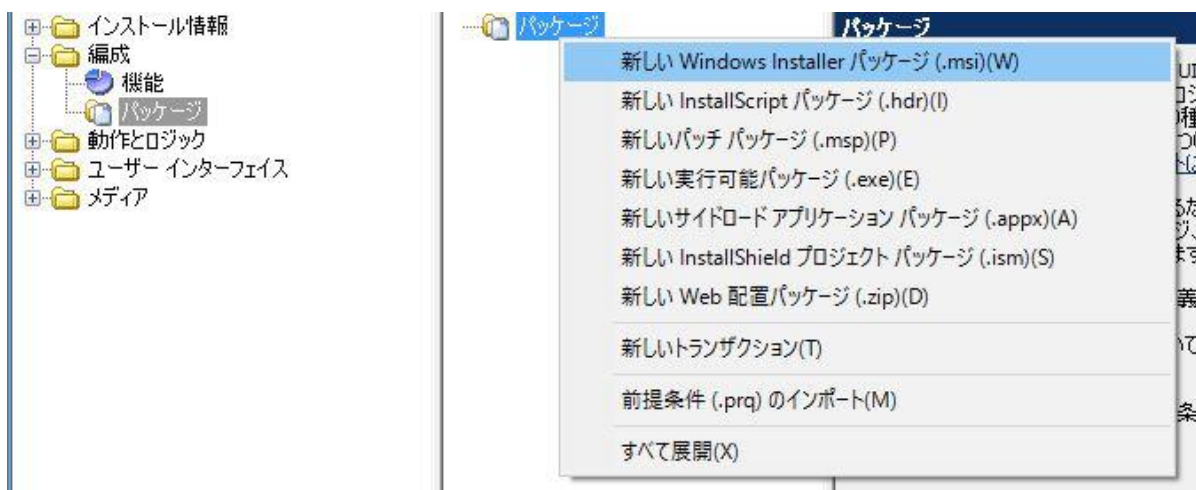
3. 追加した機能の内部名を「TestApp32_64」、[表示名]を「テストアプリケーション 32・64」に変更します



C. パッケージの追加

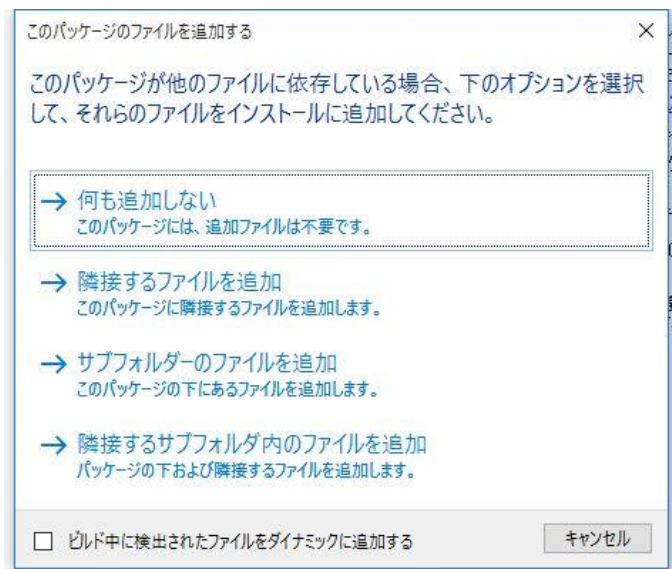
作成した機能「TestApp32_64」の配下に MSI インストーラーをスイートインストーラーのパッケージとして追加します

1. [編成] - [パッケージ] ビューに移動します。中央ペインの[パッケージ] を右クリックして「新しい Windows Installer パッケージ (.msi)」を選択します

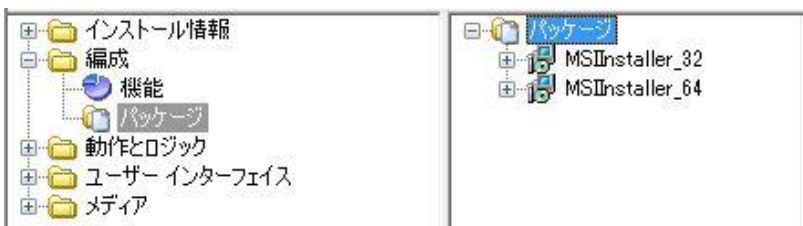


2. 32 bit 用の MSI インストーラーを指定します

3. [このパッケージのファイルを追加する] ダイアログでは、該当の MSI インストーラーが単一形式の場合「何も追加しない」を選択します。MSI インストーラーが の非圧縮形式(DVD-ROM 等)であり、インストール時に外部のソースファイルが必要とする場合、「隣接するサブフォルダ内のファイルを追加」を選択します




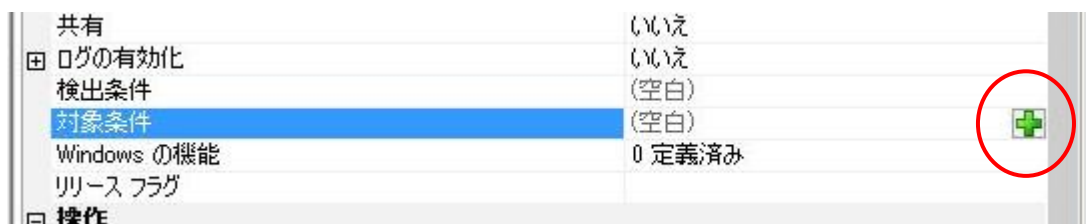
4. 同様の手順により、64 bit 用の MSI インストーラーについてもプロジェクトに含めます




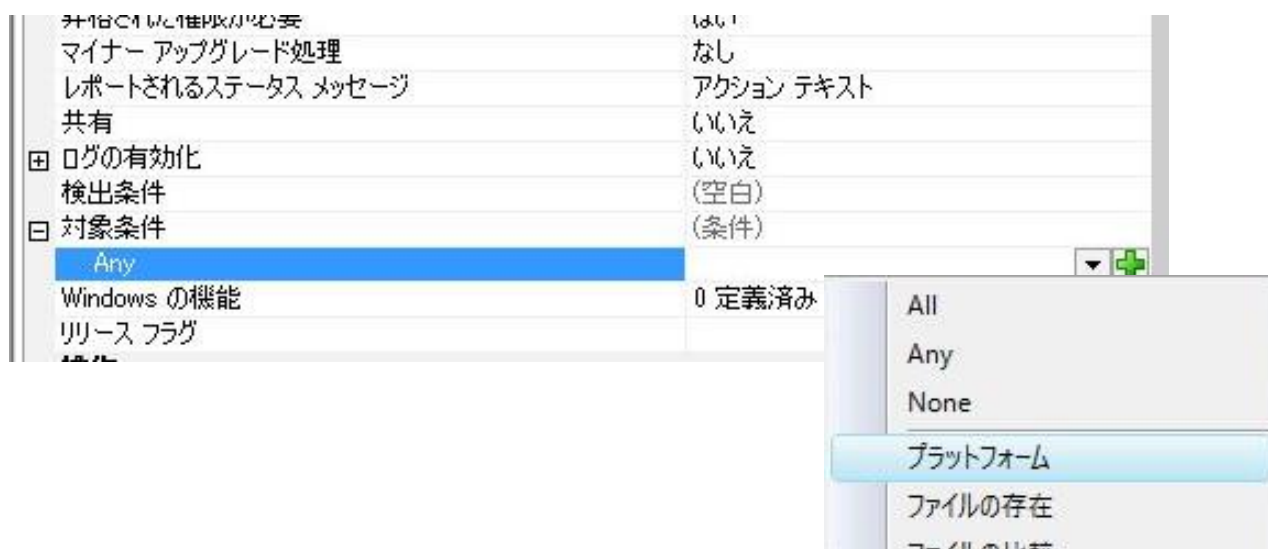
D. パッケージへの条件設定

追加したパッケージが、それぞれ 32 bit 環境、64 bit 環境で実行されるように条件設定を行います

1. [パッケージ] ビューにて、32 bit 用パッケージを選択します
2. 右のビューにて [対象条件] の右端に表示される  ボタンをクリックします。



3. [対象条件] の配下に[Any] という行が追加される点を確認します。追加された [Any] の行の  ボタンをクリックして、[プラットフォーム] を選択します



4. 追加された[プラットフォーム] 条件にて[アーキテクチャ] に「x86」を指定します



5. 64 bit 用パッケージでも同様の手順を実施します。手順 4 のアーキテクチャ条件では「x64」を指定します



D. MSI インストーラーへのプロパティ値の設定

追加した MSI インストーラーが、[プログラムと機能] パネルに表示されないように設定します。

1. [パッケージ] ビューにて、32 bit 用パッケージを選択します。右のビューにて [操作] カテゴリの [インストール] を展開します
2. [MSI コマンドライン] および [MSI サイレント コマンドライン] に対して「**ARPSYSTEMCOMPONENT=1**」という値を設定します

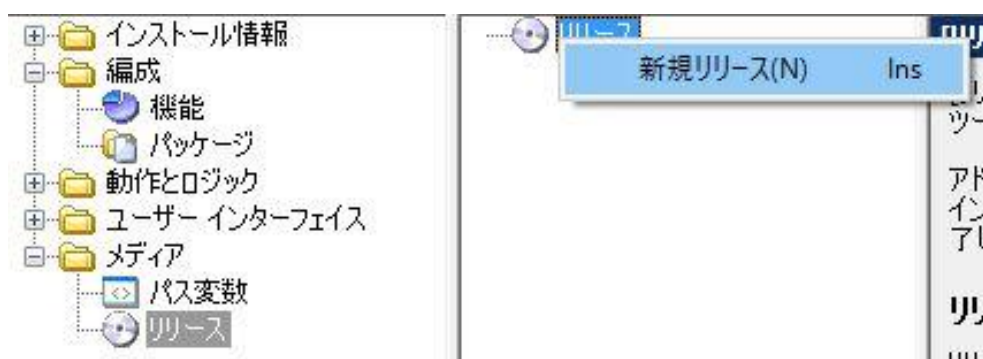
操作	
インストール	はい
ターゲット	MSIInstaller_32.msi
MSI コマンドライン	ARPSYSTEMCOMPONENT=1
MSI サイレント コマンドライン	ARPSYSTEMCOMPONENT=1
再起動の要求	コンピューターの再起動を許可する
削除	はい
修復	はい

3. 64 bit 用パッケージにも同様の設定を行います

E. リリースの設定、動作の確認

最後にリリースの構成を行い、スイートインストーラーをビルドして動作を確認します。

1. [メディア] - [リリース] ビューに移動します。中央ペインの [リリース] を右クリックして「新規リリース」を選択します



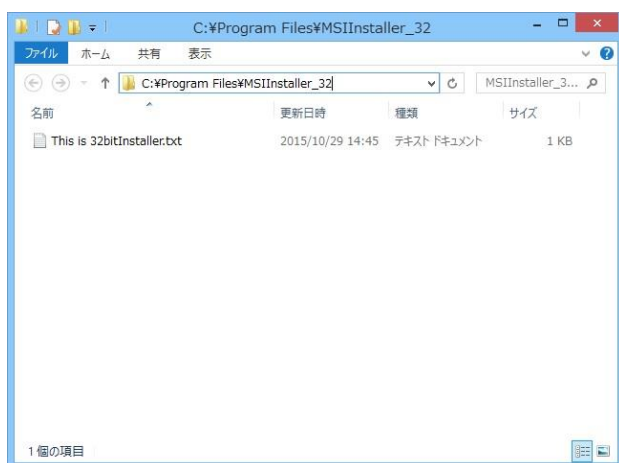
2. 新規追加されたリリースのエン트리を選びます。右のビューにて [Setup.exe] タブに移動します。[必要実行レベル]を「管理者」に設定します (※ パッケージの実行に管理者権限が必要な場合のみ)

3. 生成する Setup.exe を単一形式にする場合、[パッケージの場所] を「Setup.exe から抽出する」に変更します

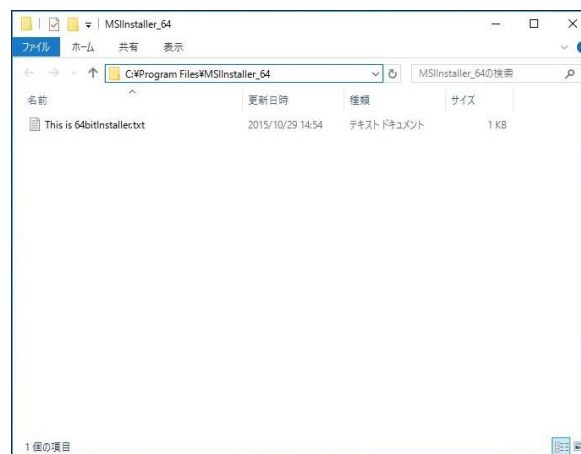


4. 作成したリリースをビルドして、スイートインストーラーの動作を実行します。32bit 環境で実行した場合、内包しているパッケージのうち、32bit 用のインストーラーのみが適用されます。64 bit 環境では、64bit 環境用のパッケージのみが適用される挙動になります。

32bit 環境での実行例



64bit 環境での実行例



以上